

「嘉麻市子育てに関するアンケート調査」 調査結果 概要版

令和6年3月

1. 調査概要

調査の目的	➤ 子育てに関する実態や意識、ニーズなどを把握し、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」の第三期計画策定のための基礎資料とする。
調査対象	➤ 就学前児童(0～5歳)の保護者 868名 ➤ 小学生児童の保護者 1,207名
調査手法	➤ 保育所・幼稚園・小学校・義務教育学校を通じた配布・回収 ➤ 在宅保育、市外に通学している児童については郵送調査 ➤ 紙の調査票での回答とインターネットでの回答を併用
調査期間	➤ 令和5年11月20日～12月15日 ※ 令和6年1月12日までに到着した調査票を集計に含む
回収数	➤ 就学前児童 582サンプル(回収率67.1%) ➤ 小学生児童 765サンプル(回収率63.4%)

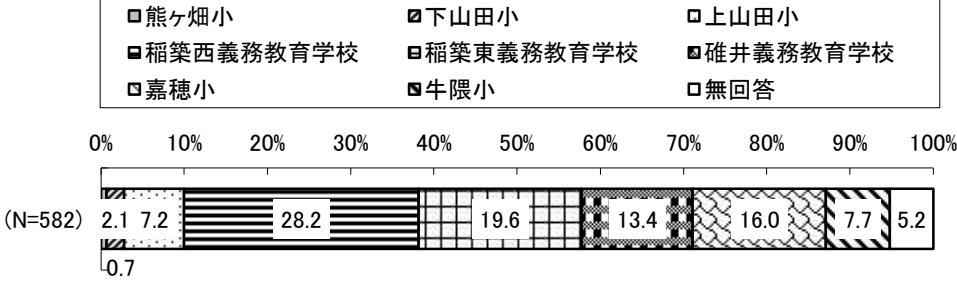
※小学生とは、小学校及び義務教育学校(1～6年)



2. 回答者の属性

図1 居住地

就学前



小学生

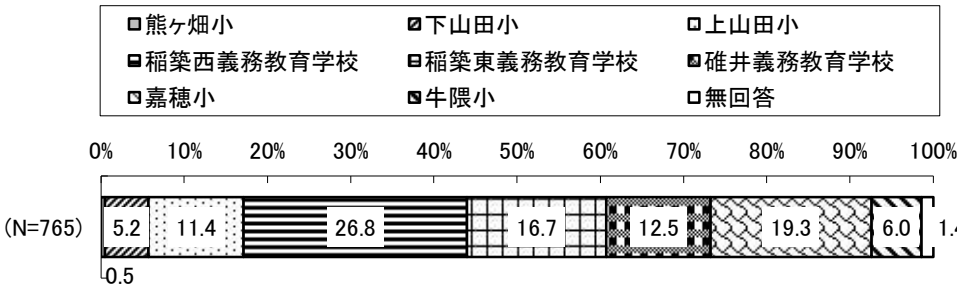
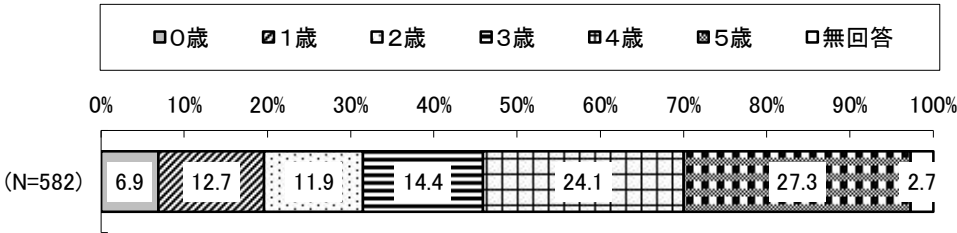


図2 子どもの年齢

就学前



小学生

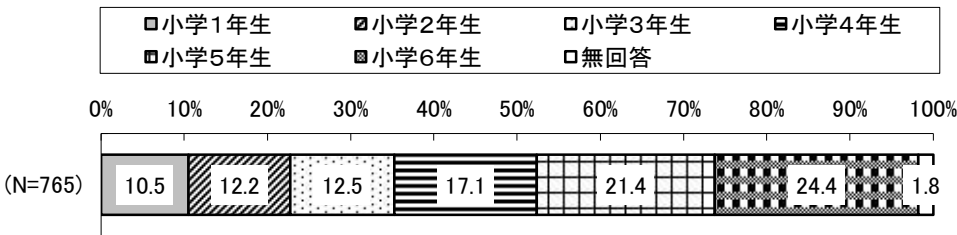
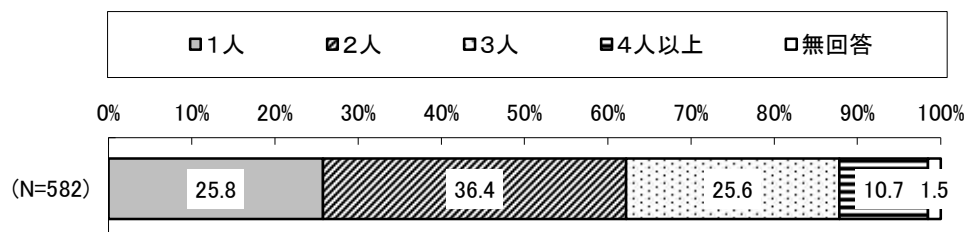


図3 子どもの人数

就学前



小学生

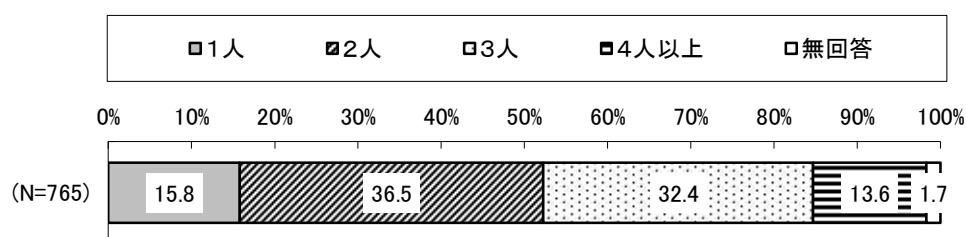
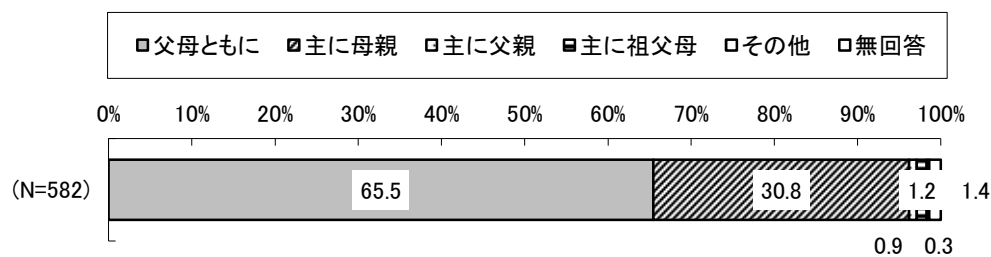
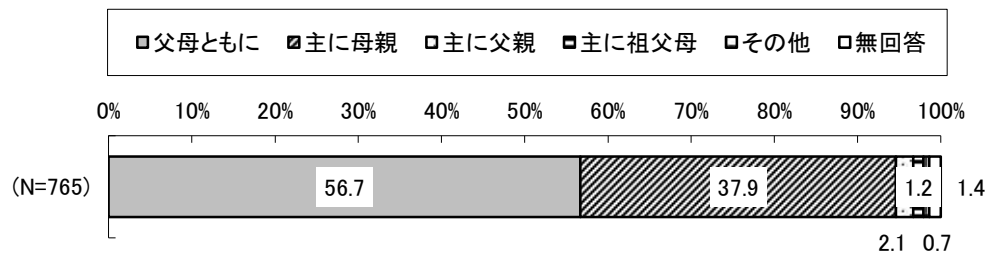


図4 主な保育者

就学前



小学生

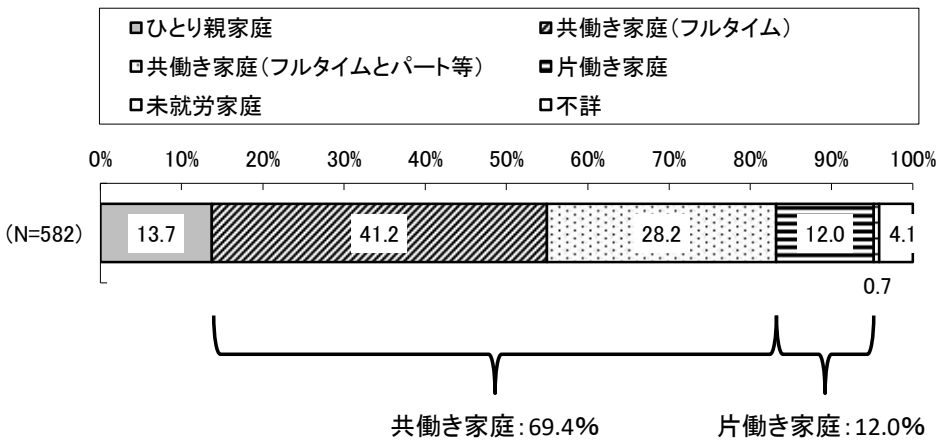


3. 保護者の就労状況

- ◆保護者の就労状況は、就学前・小学生ともに「共働き家庭」が多く、「片働き家庭」は就学前で12%、小学生で9%となっている。
- ◆また、「ひとり親家庭」は就学前で13.7%、小学生で22.6%となっており、特に小学生の保護者でひとり親家庭が2割を超えている。
- ◆子どもの年齢別にみると、就学前の「共働き家庭」の割合は子どもの年齢が3歳が最も高く、8割を超えている。なお、小学生では、小学1年生が最も高く、7割を超えている。

図5 保護者の就労状況

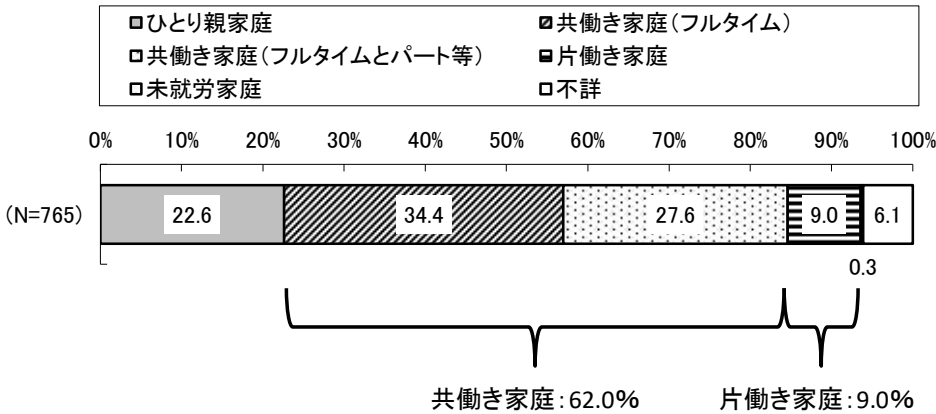
就学前



単位: %

	調査数 (N)	共働き家庭計	片働き家庭計
全 体	582	69.4	12.0
0歳	40	77.5	17.5
1歳	74	63.5	17.6
2歳	69	63.8	15.9
3歳	84	81.0	10.7
4歳	140	68.6	10.0
5歳	159	68.6	9.4
無回答	16	56.3	6.3

小学生



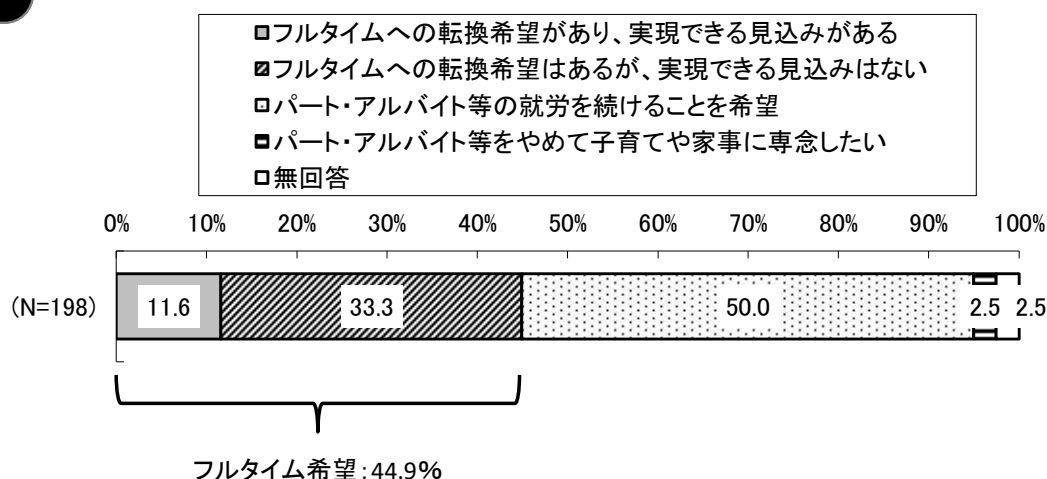
単位: %

	調査数 (N)	共働き家庭計	片働き家庭計
全 体	765	62.0	9.0
小学1年生	80	72.5	7.5
小学2年生	93	65.6	10.8
小学3年生	96	67.7	5.2
小学4年生	131	62.6	11.5
小学5年生	164	64.0	11.0
小学6年生	187	53.5	8.0
無回答	14	21.4	-

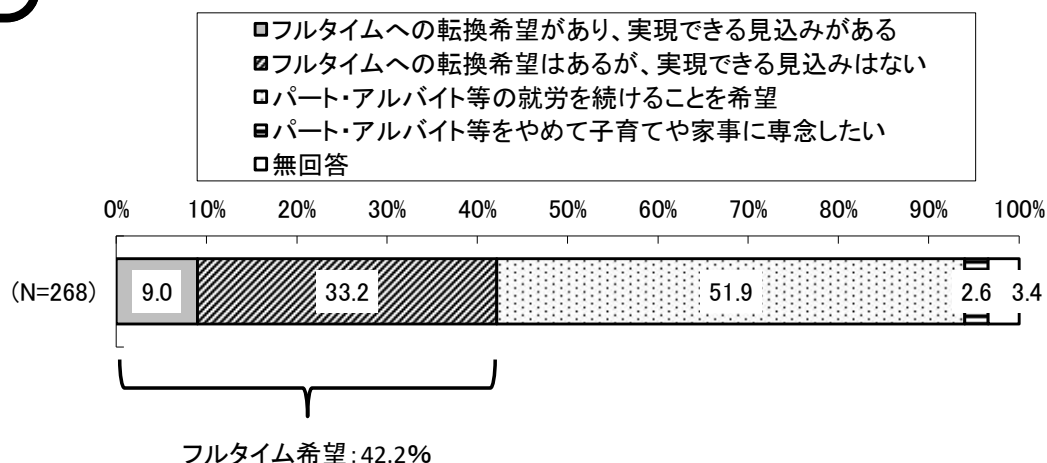
- ◆パート・アルバイト勤務のうち、フルタイム勤務への転換を希望している母親は就学前で44.9%、小学生で42.2%となっている。
- ◆フルタイム勤務を希望しながらも実現できる見込みがない母親は就学前、小学生ともに3割を超えている。
- ◆一方で、パート・アルバイト等の就労を続けることを希望している母親は、就学前、小学生ともに5割程度となっている。

図6 母親のフルタイムへの転換希望

就学前



小学生



4. 定期的な教育・保育事業の利用状況

- ◆平日、幼稚園や保育所などの教育・保育事業を利用している人が91.2%、利用していない人が8.6%と、利用している人が大半。
- ◆利用している事業の内訳をみると、認可保育所が74.4%と最も多い。
- ◆今後の利用希望として、既に利用割合の高い認可保育所を除くと、幼稚園（預かり保育）や認定こども園へのニーズが高くなっている。また、現在実施していないファミリー・サポート・センターのニーズは6.4%となっている。

就学前

図7 利用状況

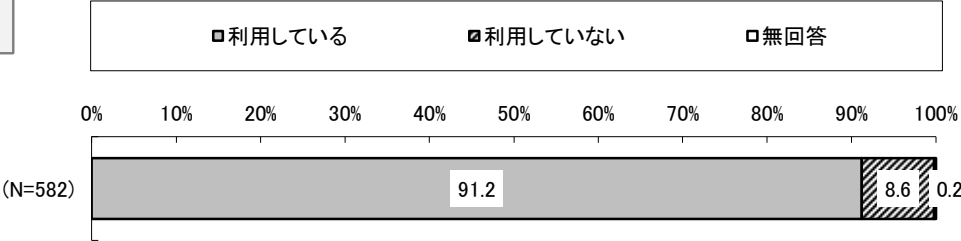


図8 現在利用している事業

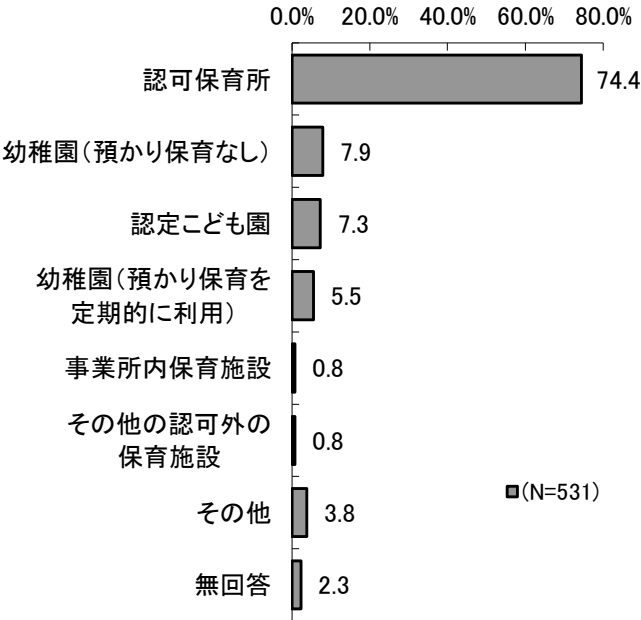
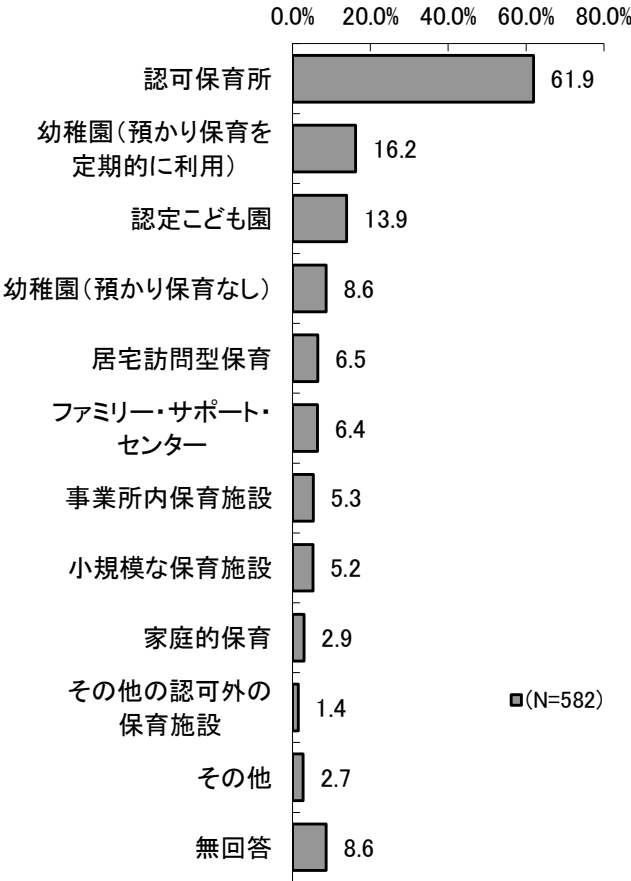


図9 今後利用を希望する事業



5. 病気の際の対応について

- ◆病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」が73.3%。
- ◆その時の対処方法として、「母親が休んだ」が最も多く、「親族・知人に子どもをみてもらった」が続いている。
- ◆母親又は父親が休んだ人の病児・病後児サービスの利用意向は、「利用したいとは思わない」が61.1%、できれば利用したいとする人が37.2%、なかでも「病児・病後児どちらも利用したい」とする人が27.4%となっている。

就学前

図10 病気等で教育・保育事業を休んだ経験

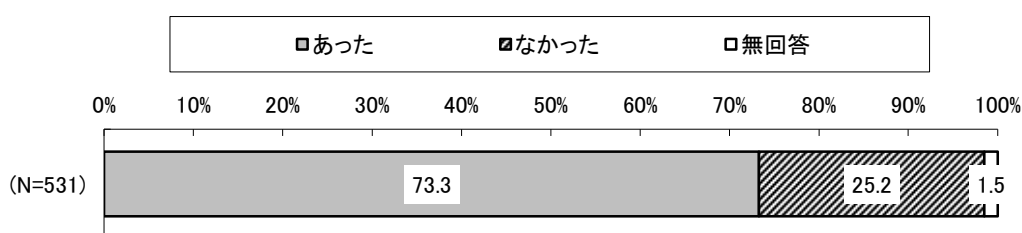


図11 対処方法

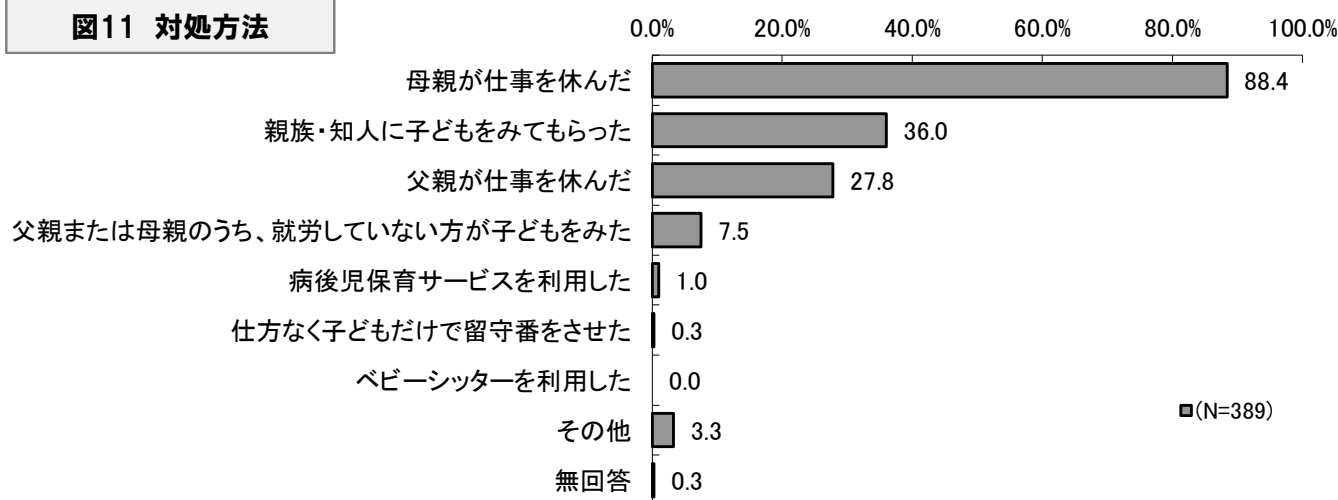
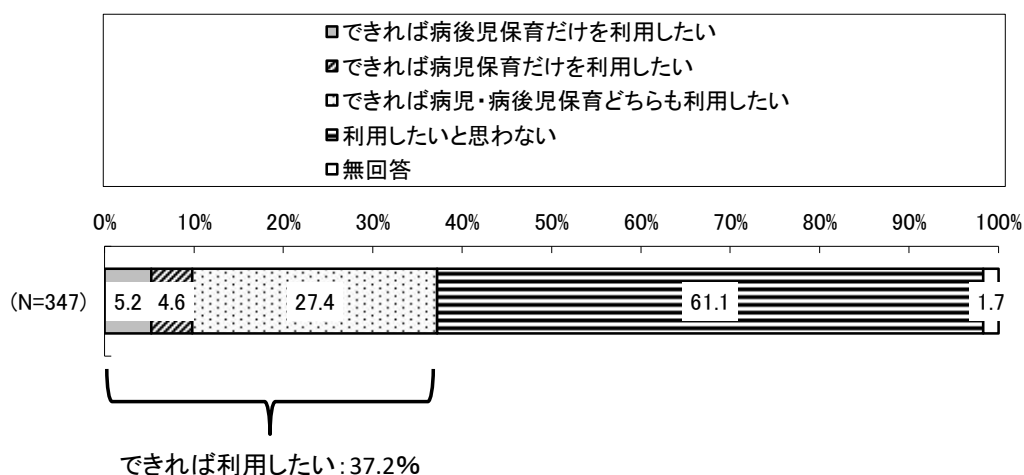


図12 病児・病後児サービスの利用意向



6. 一時預かりについて

- ◆不定期的に利用している一時預かり等について、利用していない人が86.4%となっているが、今後の利用意向については、34.7%が「利用したい」と回答している。
- ◆利用したい理由として、「私用やリフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が多くなっている。

就学前

図13 不定期的に利用している一時預かり等

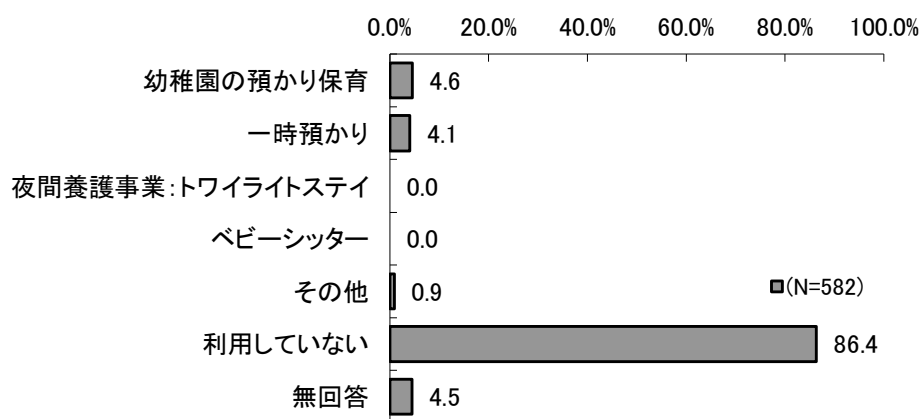


図14 一時預かり等の利用意向

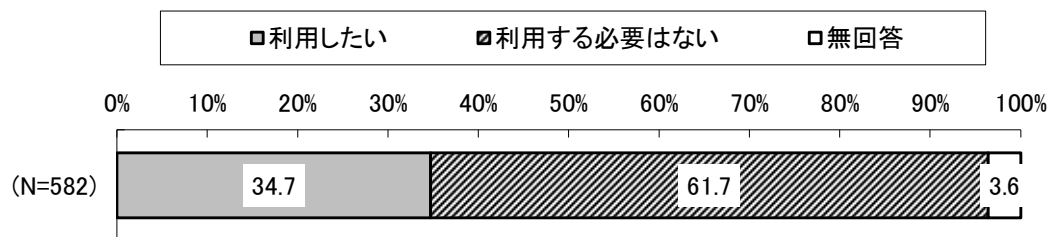
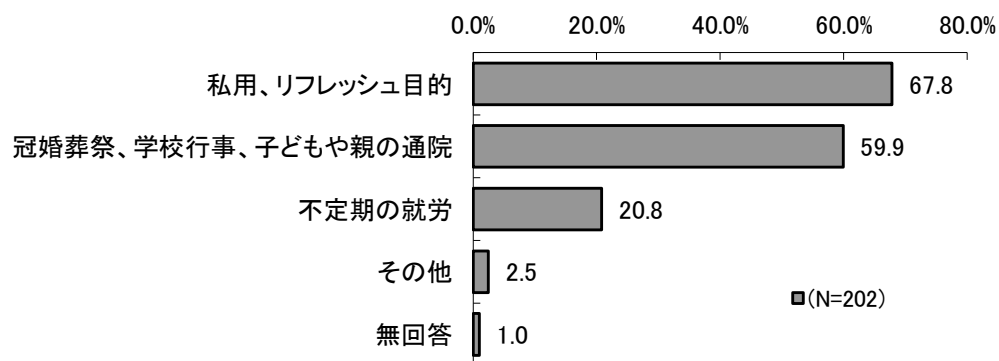


図15 利用したい理由

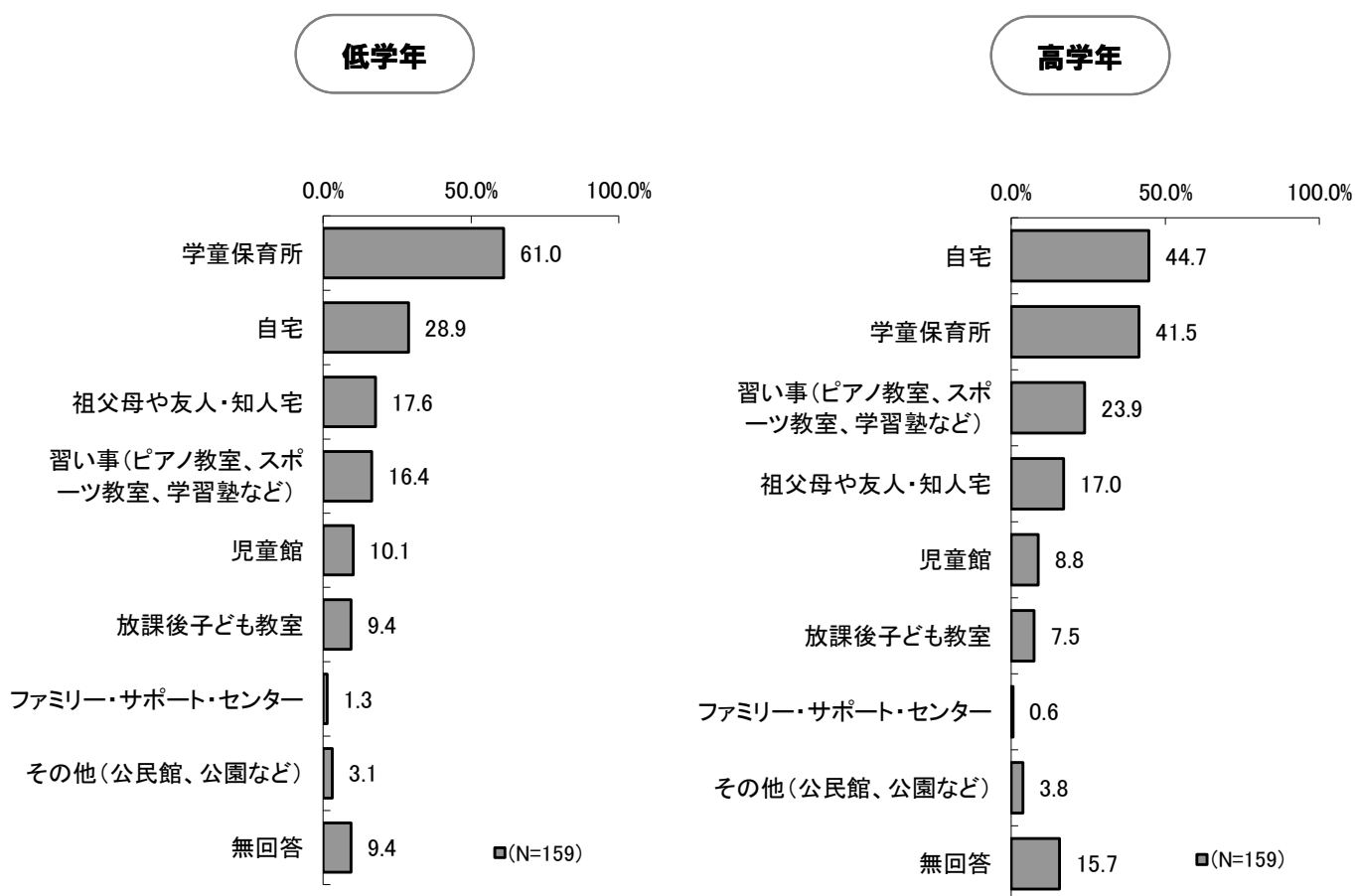


7. 放課後の過ごし方

◆ 5歳以上の就学前児童について、小学生になってからの希望する放課後の過ごし方を尋ねたところ、低学年のうちは「学童保育所」が最も多かったが、高学年では「自宅」で過ごさせたい保護者が増えている。

就学前

図16 希望する放課後の過ごし方

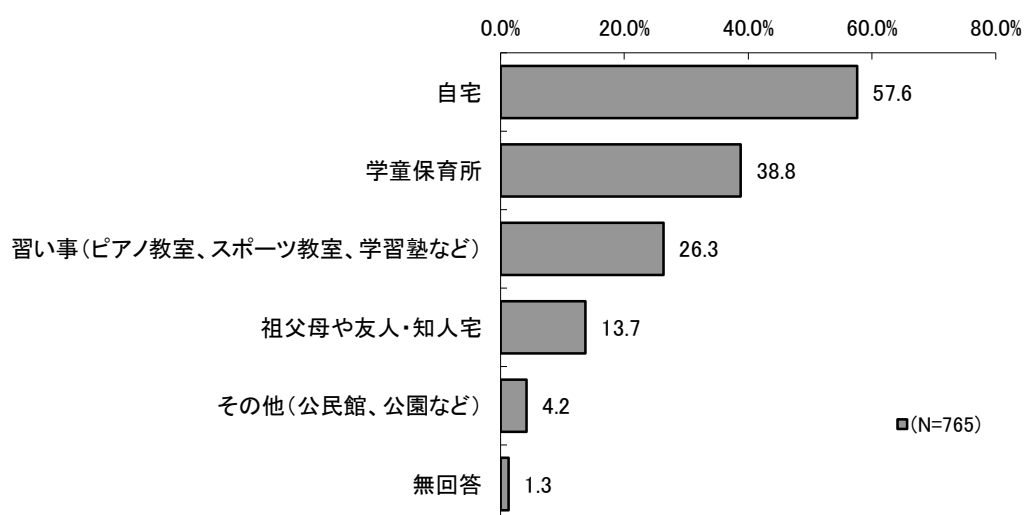


- ◆小学生の現在の放課後の過ごし方について、「自宅」が57.6%と最も多く、次いで「学童保育所」、「習い事」と続いている。
- ◆今後の放課後の過ごし方の希望については、「自宅」や「習い事」をして過ごさせたい保護者の割合が増えている。

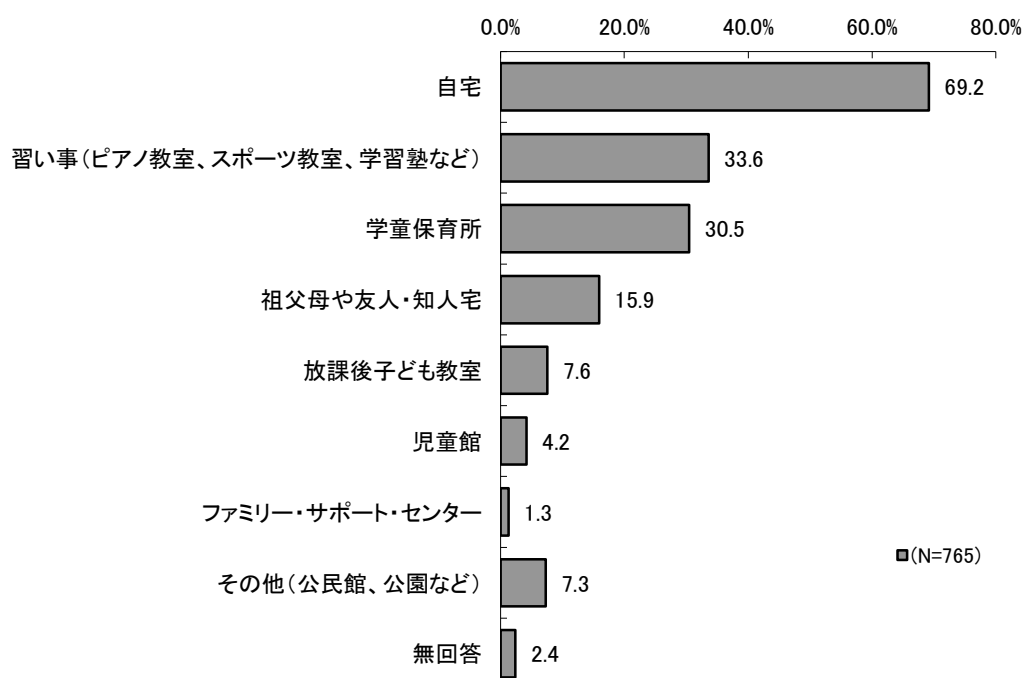
小学生

図17 放課後を過ごす場所と今後の希望

現在



希望



◆小学生の希望する放課後の過ごし方を学年別にみると、学童保育の利用希望は概ね3年生までに多く、4年生以上になると自宅で過ごさせたい保護者の割合が増える。

小学生

図18 希望する放課後の過ごし方

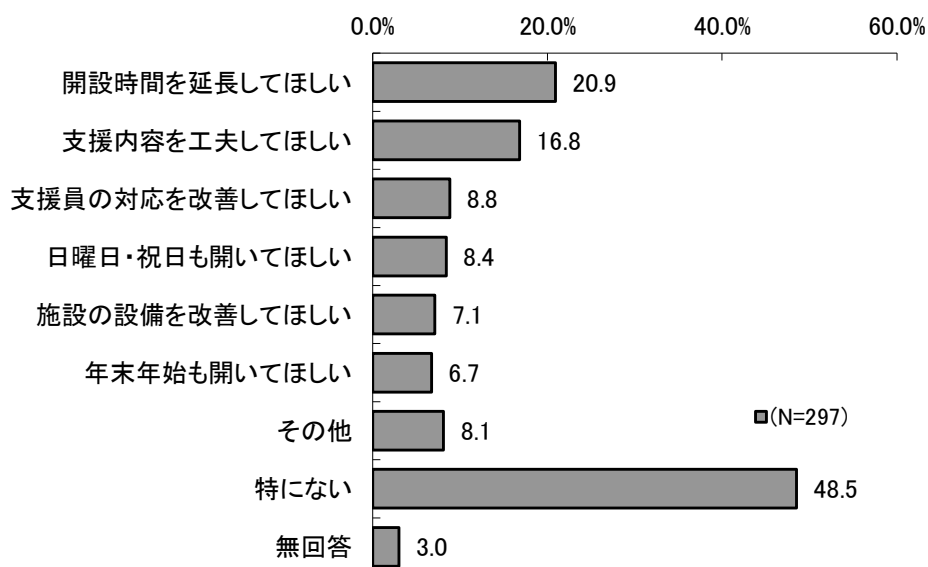
単位：％

	調査数（N）	自宅	祖父母や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、スポーツ教室、学習塾など）	児童館	放課後子ども教室	学童保育所	ファミリー・サポート・センター	その他（公民館、公園など）	無回答
全 体	765	69.2	15.9	33.6	4.2	7.6	30.5	1.3	7.3	2.4
小学1年生	80	52.5	18.8	33.8	3.8	13.8	62.5	5.0	7.5	-
小学2年生	93	58.1	18.3	36.6	5.4	10.8	45.2	1.1	8.6	5.4
小学3年生	96	61.5	13.5	31.3	4.2	5.2	45.8	-	7.3	4.2
小学4年生	131	71.0	13.7	35.1	3.8	8.4	26.7	0.8	6.9	0.8
小学5年生	164	73.2	13.4	33.5	3.7	6.1	20.7	0.6	6.7	1.8
小学6年生	187	81.8	17.1	33.2	4.8	5.3	12.8	1.6	8.0	1.6
無回答	14	57.1	35.7	21.4	-	7.1	28.6	-	-	14.3

◆現在、学童保育所を利用している保護者に対し、学童保育所への要望を尋ねたところ、「特にない」が最も多く、要望としては、「開設時間を延長してほしい」（20.9％）が多くなっている。

小学生

図19 学童保育所に対する要望



8. 食事の状況について

- ◆平日の朝食を摂る頻度については、「いつも食べる（週に5日）」が大半であるが、「食べないことが多い（週に1,2日）」が5.5%、「いつも食べない」が1.3%を占めている。
 - ◆朝食・夕食を誰と食べているかについて、朝食・夕食ともに親や兄弟姉妹の家族と食べている子どもが多い。一方、朝食時においては「一人で食べる」が13.5%を占めている。
- ※「孤食」の機会の多い子どもほど偏食になりやすく、食欲も落ちるため、「体調不良になりやすい」「元気が出ない」「精神的な満足感が得られず、情緒不安定になりやすい」といった傾向にあると言われる。

小学生

図20 朝食の頻度

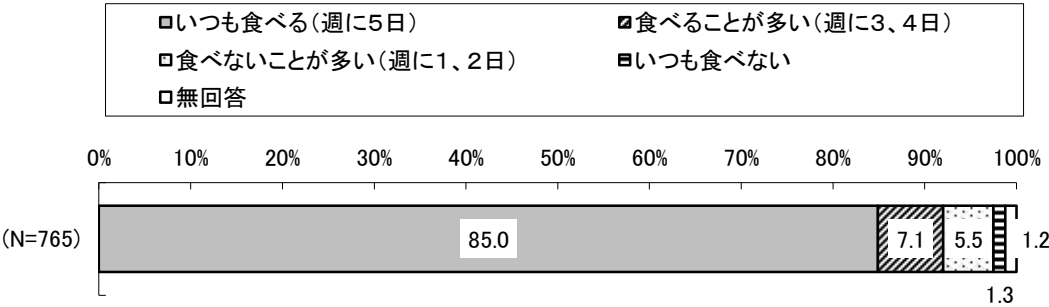
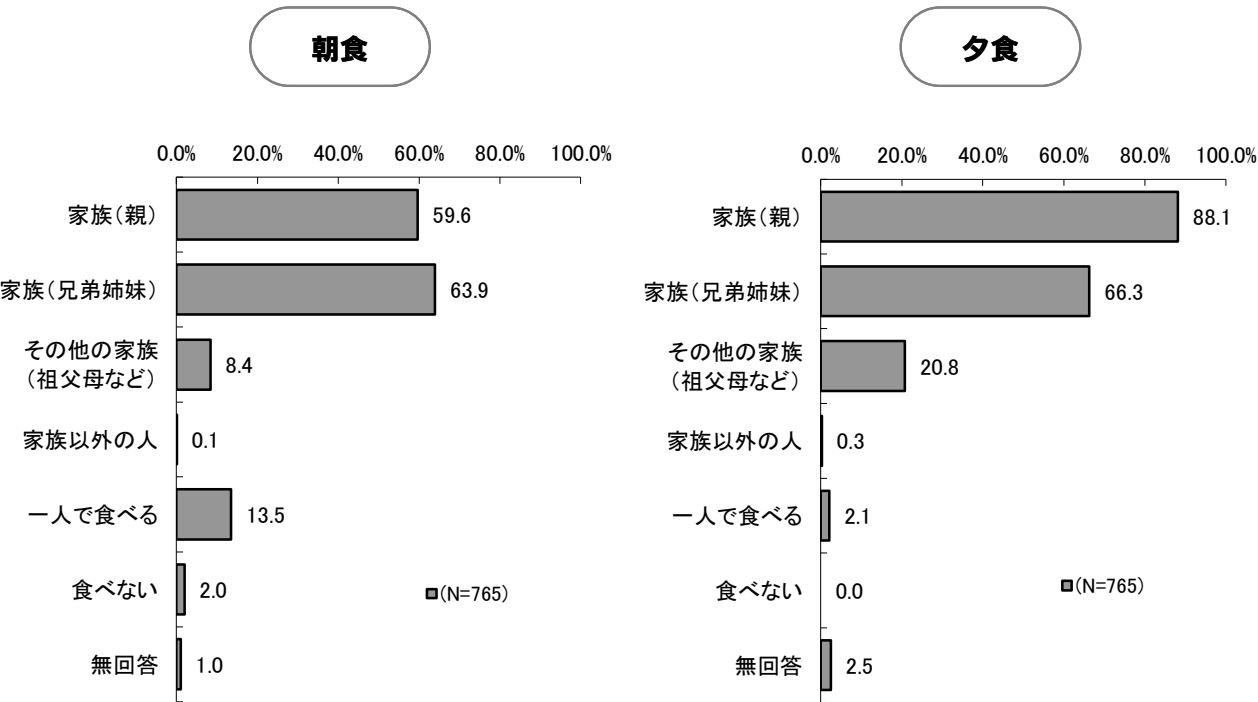


図21 朝食・夕食を食べる人



9. 子育ての状況について

- ◆子育ての状況について、就学前・小学生ともに「まあ満足している」、「満足している」の順で多く、保護者の8割程度が現在の子育てに概ね満足していると回答している。
- ◆また、子どもを育てている時の気持ちについても、「子どもがいて毎日が楽しい」、「子育てによって自分も成長している」などの前向きな意見が多くなっている。
- ◆一方で、「生活や気持ちにゆとりがなくイラ立つことがある」、「子育てに不安や悩みを感じることもある」の割合も3～4割程度を占めており、ストレスを抱えながら子育てをしている保護者も一定数いることが読み取れる。

図22 子育ての満足度

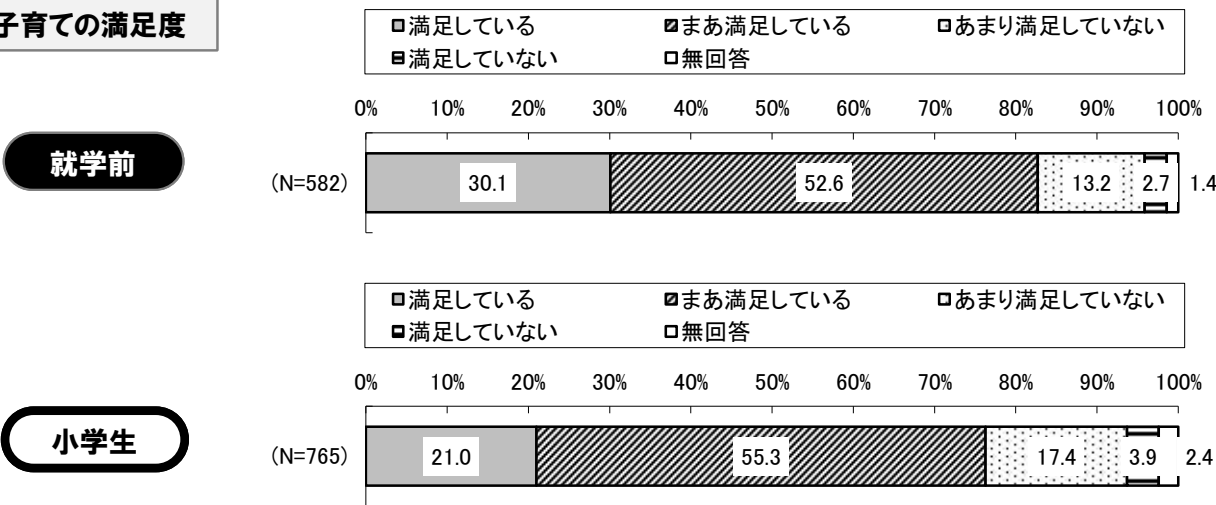
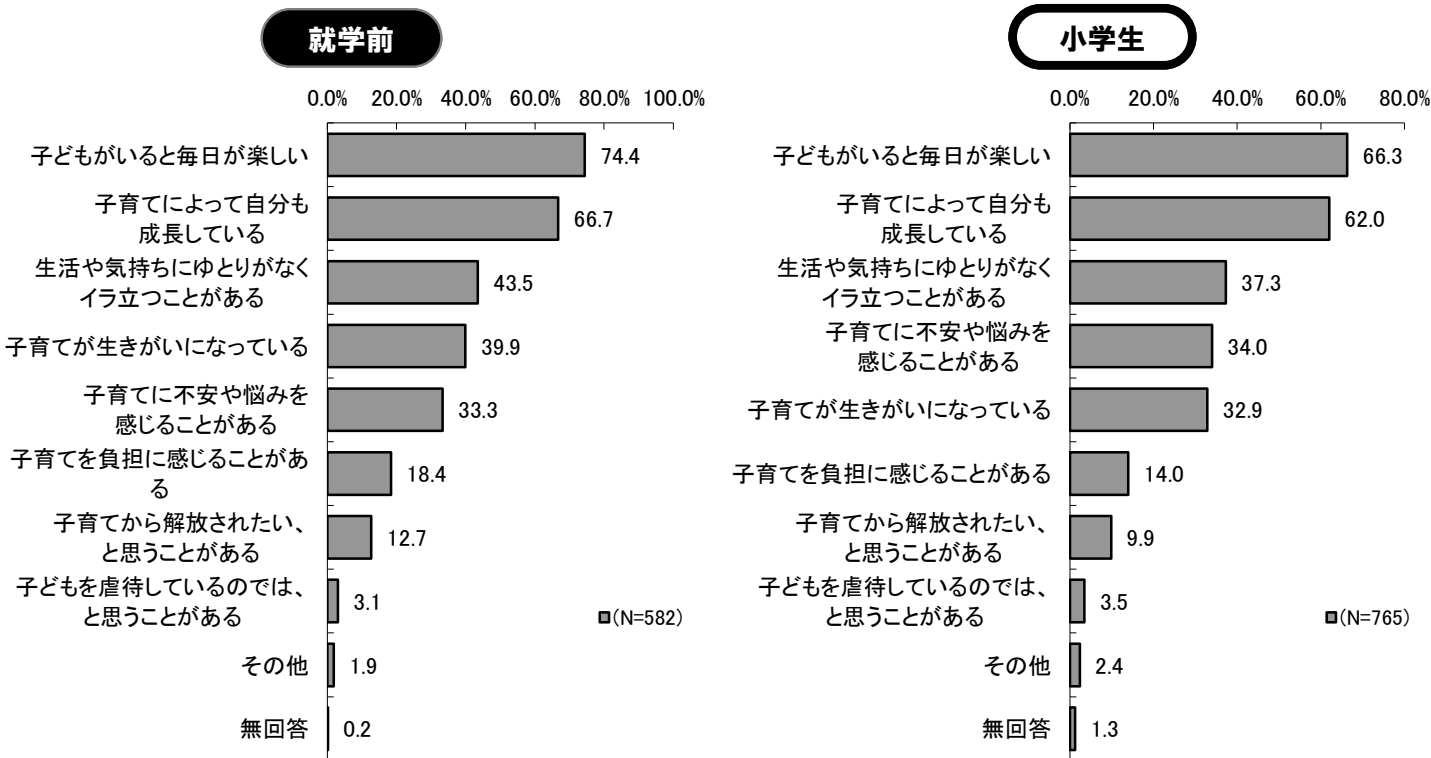


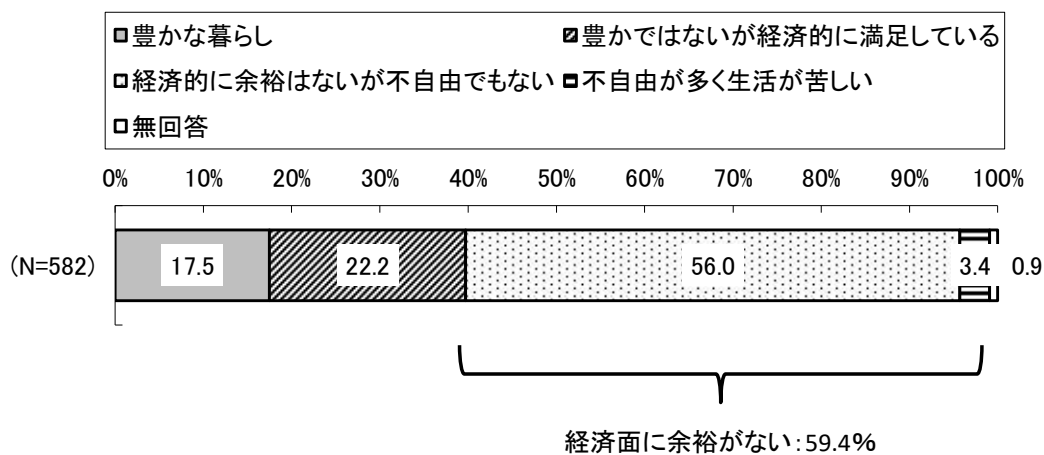
図23 子どもを育てている時の気持ち



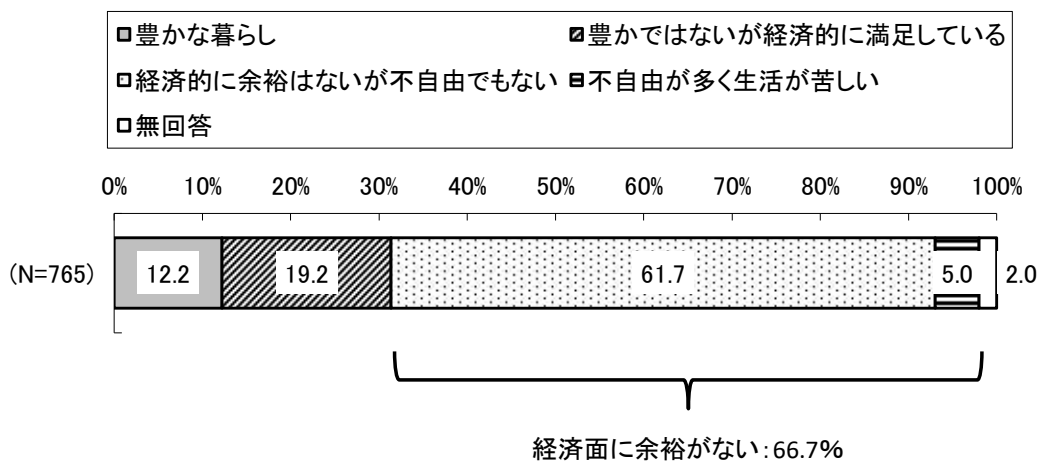
- ◆家庭の暮らしの状況について、就学前・小学生ともに「経済的に余裕はないが、不自由でもない」とする人が最も多い。
- ◆「経済的に余裕はないが、不自由でもない」、又は、「不自由が多く生活が苦しい」と回答した、経済面に余裕がない世帯は、就学前では59.4%、小学生では66.7%を占めている。

図24 暮らしの状況

就学前

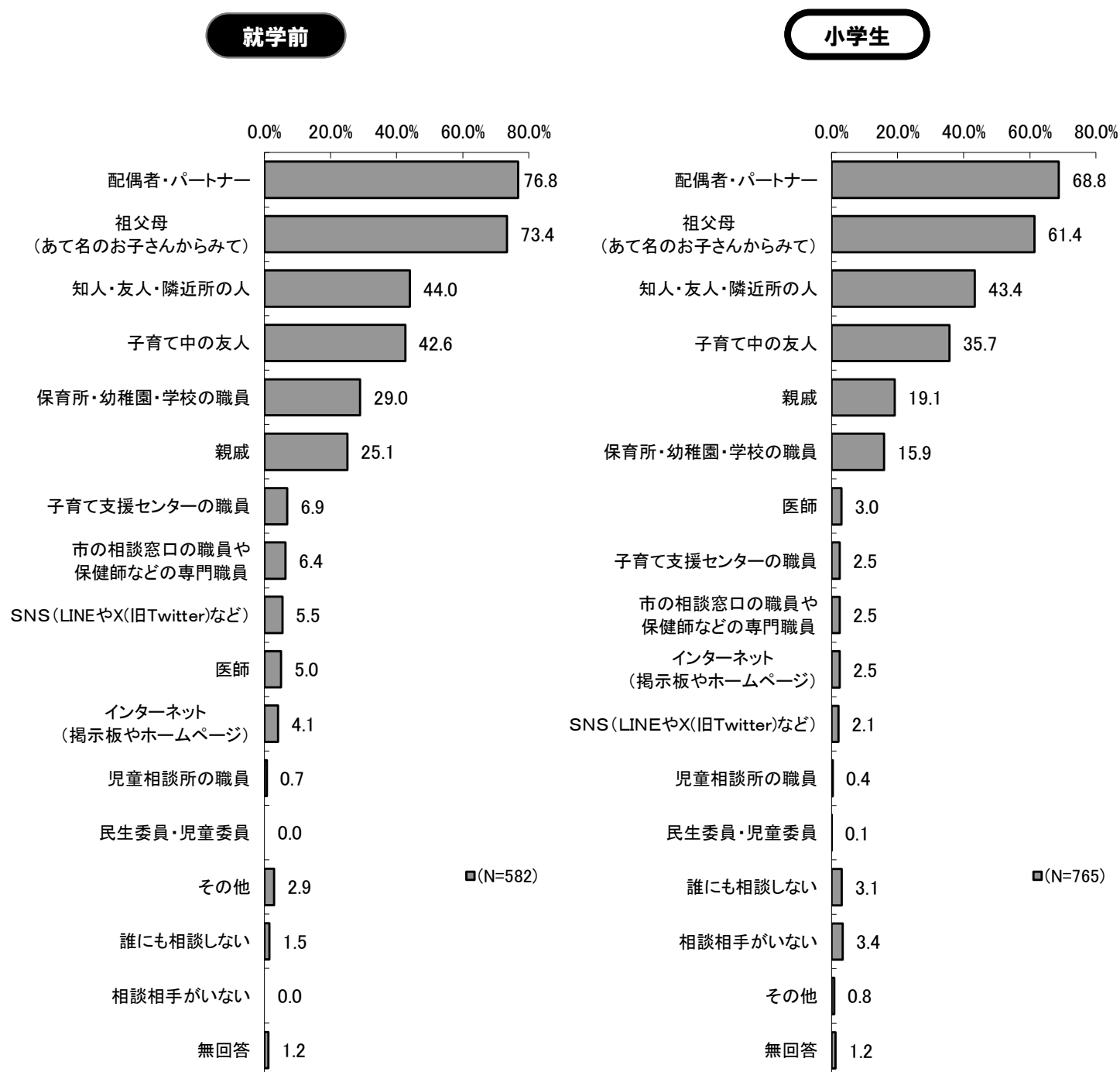


小学生



◆子育ての悩みの相談先について、就学前・小学生ともに「配偶者・パートナー」や「祖父母」など、身近な人に相談しているという回答が多いことが読み取れる。

図25 子育ての悩みの相談先

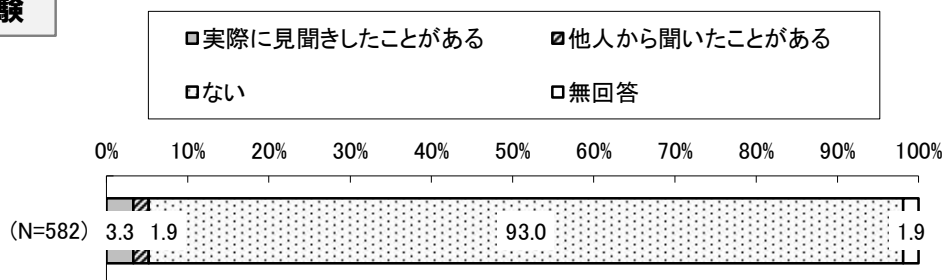


10. 虐待の見聞きについて

- ◆地域で子どもへの虐待を見聞きした経験について、就学前で5.2%、小学生で8.6%が「実際に見聞きしたことがある」もしくは「他人から聞いたことがある」と回答している。
- ◆見聞きした経験のある人に、どのような対応をとったか尋ねたところ、就学前・小学生ともに「特に何もなかった」が最も多く、「自分の家族や親族に相談した」がこれに続いている。

図26 虐待を見聞きした経験

就学前



小学生

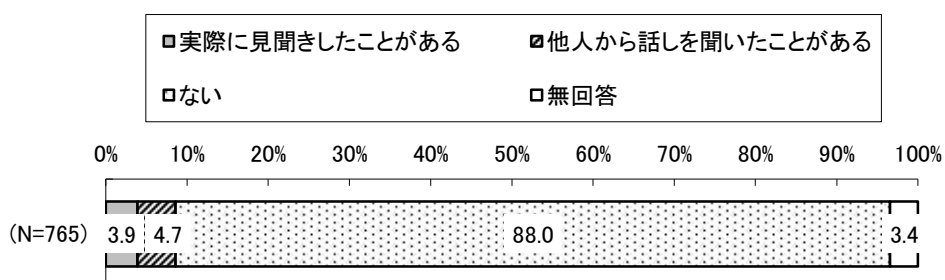
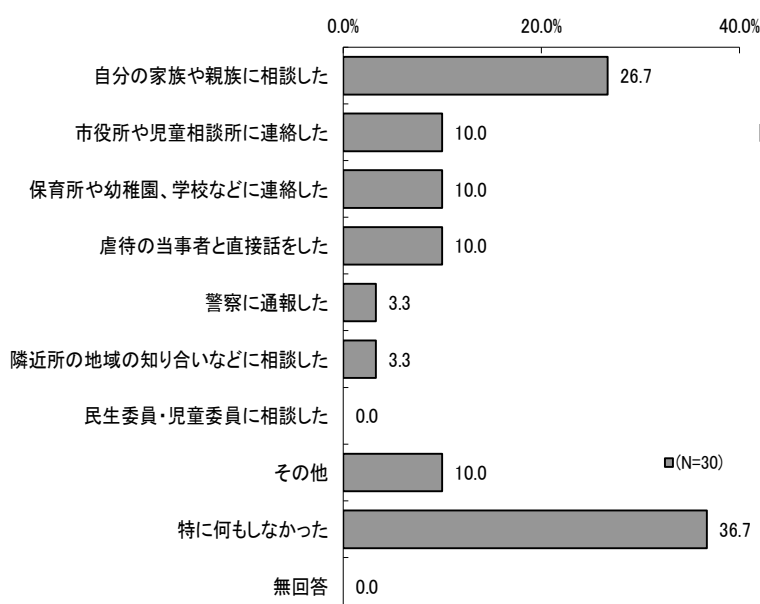
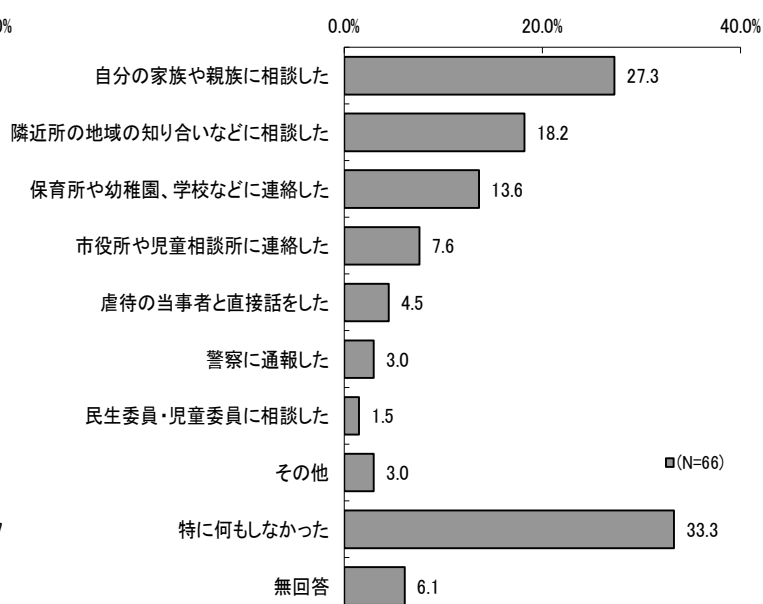


図27 虐待を見聞きした時の対応

就学前



小学生



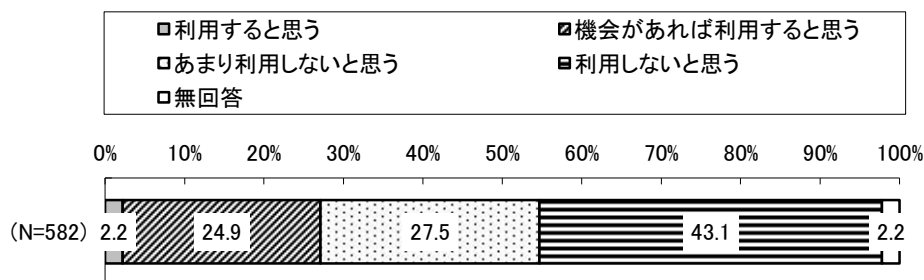
11. ファミリー・サポート・センターについて

◆ファミリー・サポート・センターの利用意向を尋ねたところ、就学前・小学生ともに2～3割程度の希望となっている（「利用すると思う」+「機会があれば利用すると思う」）。

◆1時間あたりの利用希望料金については、就学前・小学生ともに「500未満」と「500～800円未満」を希望する人が多く、平均金額は500円台後半となっている。

図28 利用意向

就学前



小学生

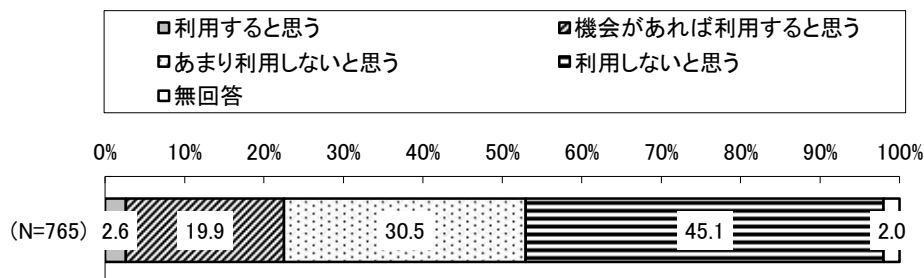
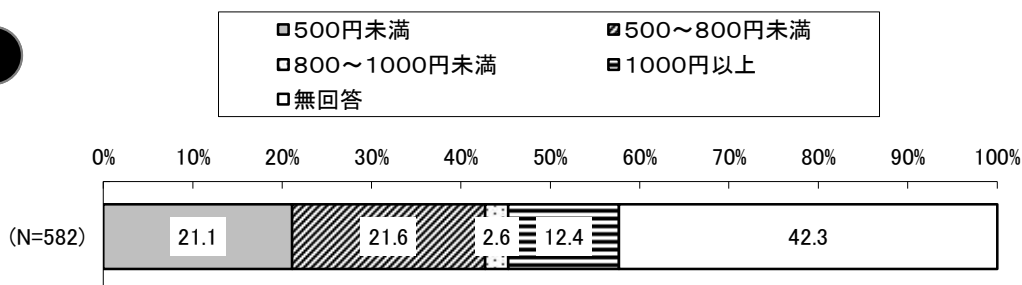


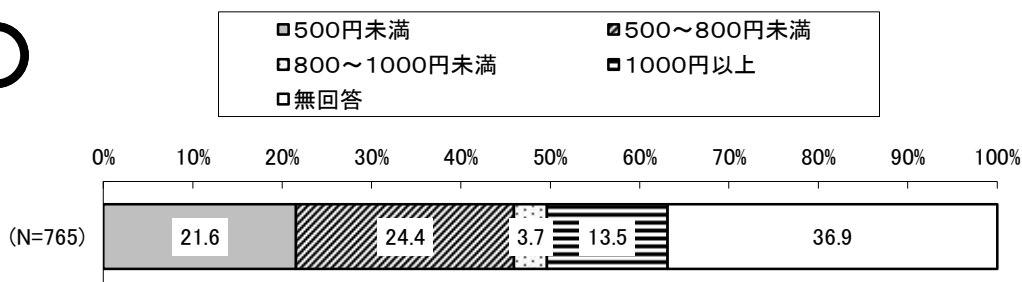
図29 1時間あたりの利用希望料金

就学前



平均
580円

小学生



平均
561円

12. 子育てに関する情報の入手について

- ◆嘉麻市の子育てサービスや、利用に際しての手続き等についての情報は、「広報嘉麻」から入手している人が多い。
- ◆嘉麻市から情報を十分に受け取れているかについては、「そうは思わない」や「どちらともいえない」とする人が多く、嘉麻市からの情報に関する充足度は低いと考えられる。

図30 子育て情報の入手手段

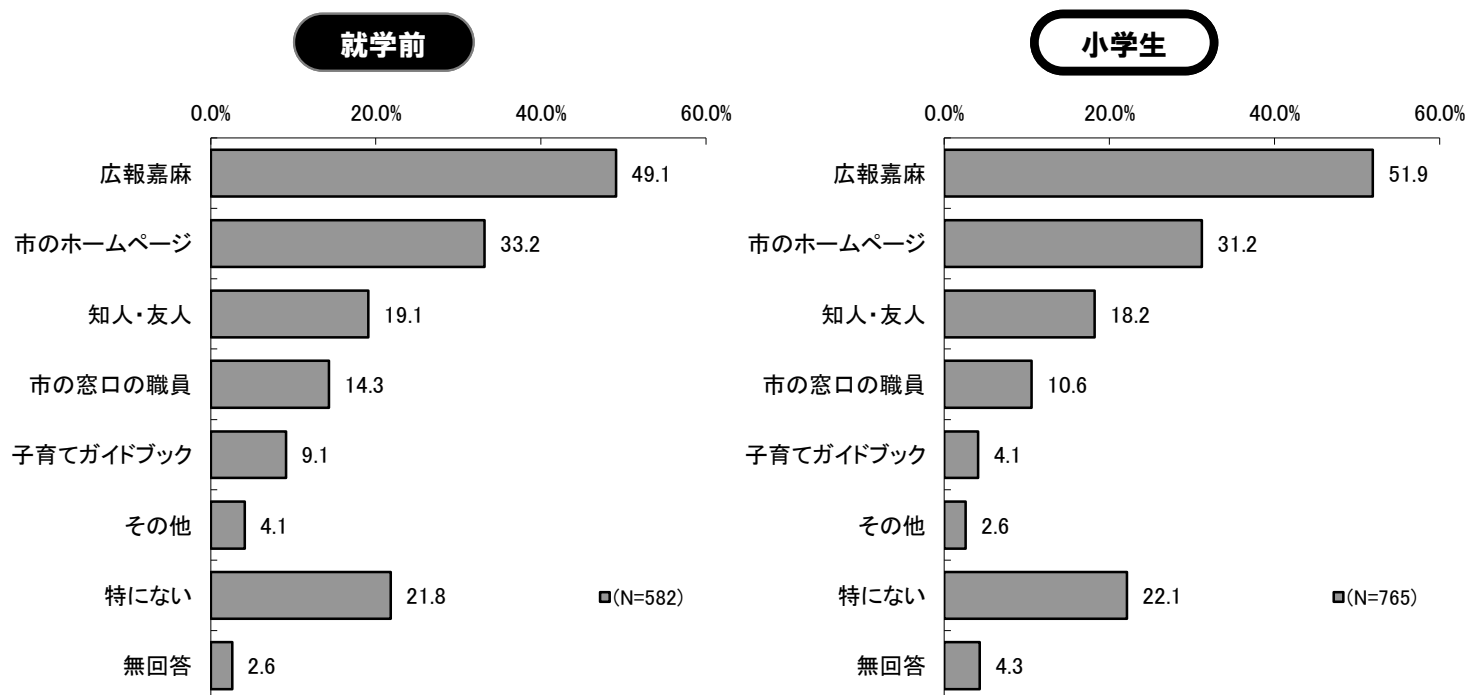
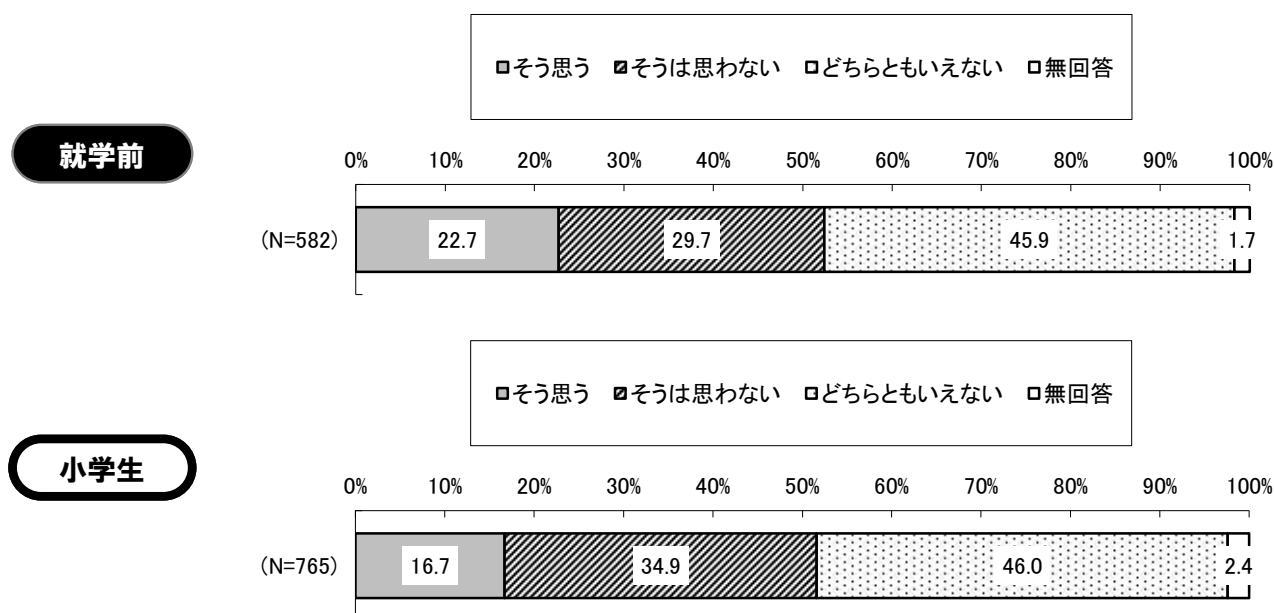


図31 情報を十分に受け取れているか

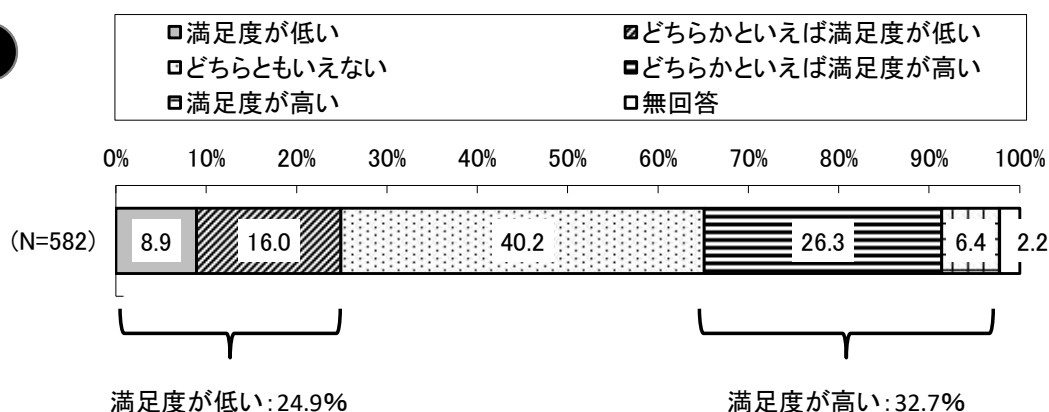


13. 子育て環境・支援施策全般について

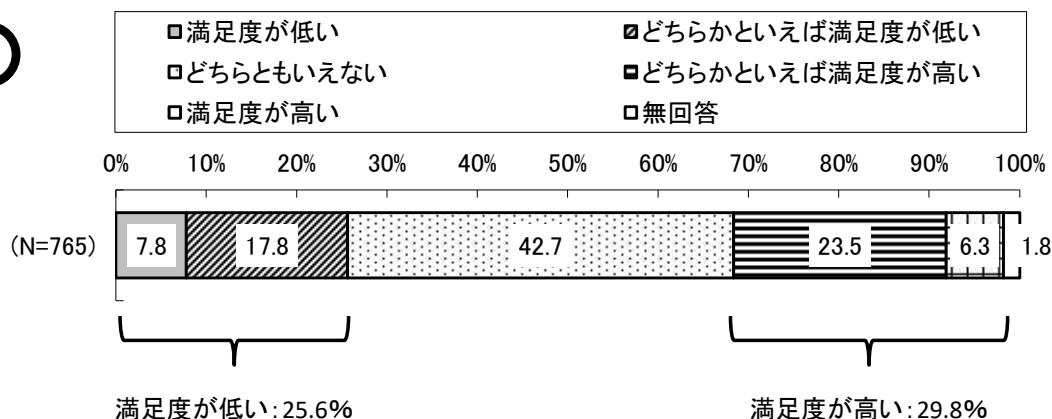
- ◆嘉麻市の子育て環境や支援の満足度について、就学前・小学生ともに「どちらともいえない」とする保護者が最も多い。
- ◆就学前・小学生ともに満足度が高い回答の割合は30%前後、満足度が低い回答の割合は25%程度となっている。

図32 子育て環境や支援の満足度

就学前



小学生



- ◆安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つために、嘉麻市に充実してほしいと思う取り組みについて、就学前・小学生ともに同様の傾向を示しており、「子どもの居場所や安全に遊べる場づくり」と「小児医療や救急医療体制」の二項目へのニーズが特に高い。
- ◆また、これらに続き、就学前では「仕事をしながら安心して子育てしていくための保育サービス」、小学生では「子どもが犯罪に巻き込まれないための対策」が高くなっている。

図33 嘉麻市が充実すべき取り組み

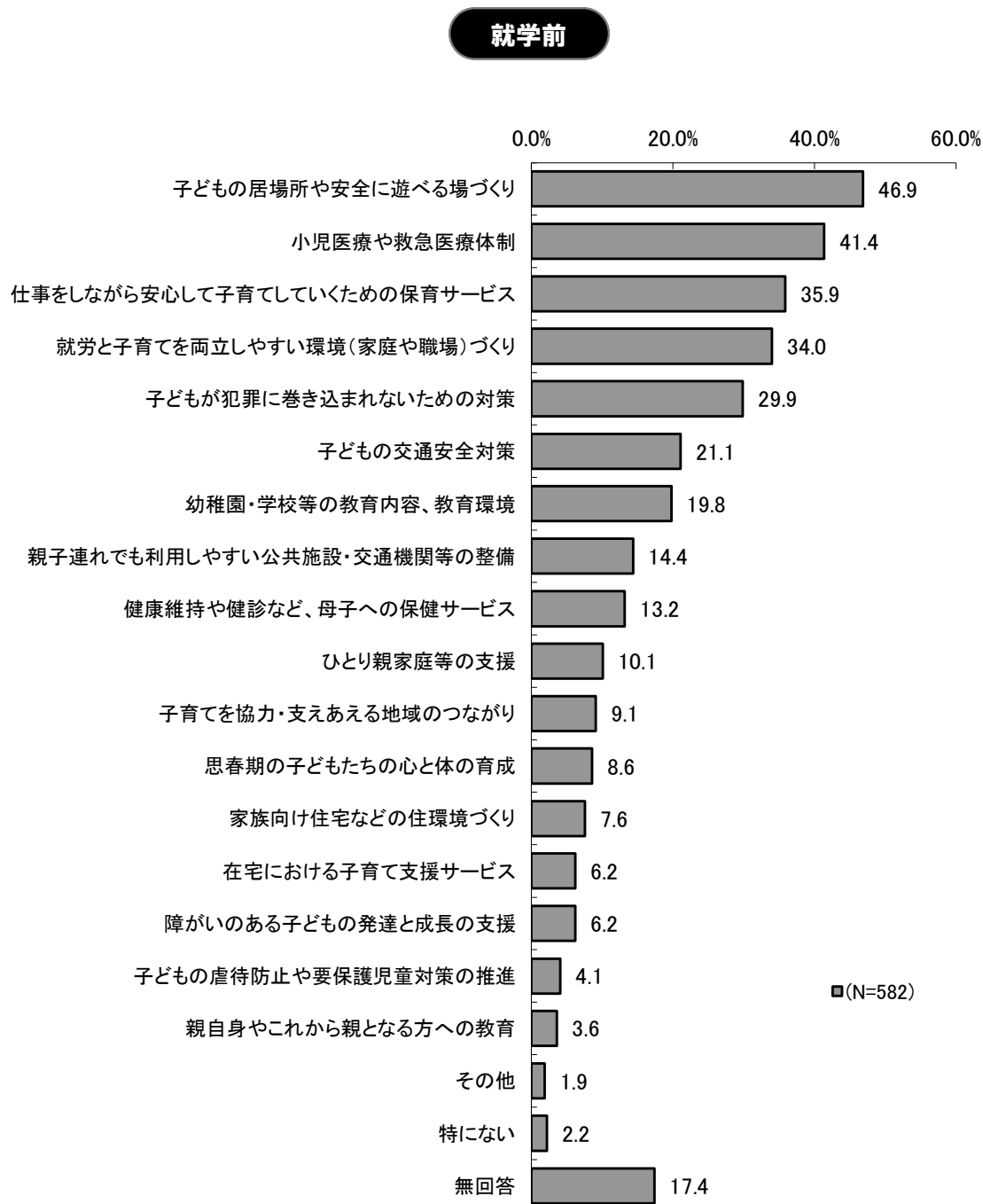


図33 嘉麻市が充実すべき取り組み

小学生

